

2023-1 古谷 優衣（ふるや ゆい）

10月10日はフィジーDay！！



写真：石澤 剛 隊員（フィジー・ランバサ・病院運営）より

毎年10月10日はフィジーの独立記念日！国中がフィジーカラーの水色に染まって、ワクワクの祝日ムードが高まります。今年はフィジーで2番目に大きな島でパレードが開催されました。パレードにはフィジーカラーの服をまとった人たちが国旗を手に、街を練り歩くそうです。

私はこの特別な日に、Rewa村のフィジーデーのお祝いにお呼ばれました。村では一日中、陽気な音楽が流れていて、子どもたちのパフォーマンスや大人たちの自由なダンスタイムが繰り広げられます。この日のために村のみなさんが朝早くからたくさんのお料理を用意してくれていました。独立記念日を国中のみんなと一緒に祝い楽しむ文化を素敵だと感じました。

私が見たフィジー！！



何といっても大人も子どもも笑顔！お祭りということもあって、みんな楽しそうに笑いながらおしゃべりをしたり、踊ったり、カバ*を飲んだりしていました。そして子どもたちは無邪気そのもの。見慣れないアジア人の私に最初は少し警戒している様子でしたが、すぐに仲間に入れてくれました。元気いっぱい、ダンスの時間になると手を引かれて一緒に踊り、気づけば汗だくに…。あまりにもヘトヘトな私を見かねた同僚が、「もう座っていなさい」と言ってくれたのも良い思い出です。



村まではボートで行きます。



～カバ～

植物の根から作られる伝統的な飲み物です。根を乾燥させて粉末状にし、水と混ぜて作ります。見た目は少し土っぽく、味も独特で、少しスパイシーでしびれるような感覚があります。カバはリラックス効果があり、フィジーの人々が集まって話したり、儀式やお祝いの場でよく飲まれています。



口ボ料理

男性の力仕事

地面の中で火と石の力で食材を温めます。何重もの葉を蓋として使い料理します。いわゆる自然のパワーをつかった料理です。



川遊び

元気な子ども達

大人たちの食事の準備中もお祭りの後も、子ども達は川を使い、ここでもラグビー！さすがラグビー大国！



出し物の準備

パフォーマー

子どもも大人も伝統的なコスチュームを羽織り、伝統的なメイクを施し、楽しそうに準備をしていました。



食事の準備

村の女性たち

煮込み料理は女性たちが一箇所に集まり楽しくおしゃべりしながら準備。笑い声が絶えない空間です。

フィジーからのお便り



2025.2 VOL.5

2023-1 古谷 優衣 (ふるや ゆい)



遅くなりましたが...あけましておめでとうございます!!

フィジーにいと常夏の気候のせいで、今が何月かを忘れてしまいます。そして、あまり得意ではなかったはずの寒さや雪が、とても恋しく感じます。やはり日本の四季は素敵ですね。

この数か月で、フィジーでは3つの大きなイベントがありました。

ヒンドゥー教の一大イベント

『Diwali』

別名「**光のお祭り**」とも呼ばれています。その名のとおり、Diwaliの前後1週間ほどは、至るところで花火が打ち上げられていました。ただ、日本の花火とは異なり、「光」というより「音!!」という印象のものばかり。同僚になぜ光より音が重視されるのか尋ねたところ、「More Fun!」とのことでした。

また、手持ち花火もわずかに売られていましたが、こちらでは「子ども向けの花火」だそうです。店員さんにそう教えてもらいましたが、それでもしっかり購入し、日本と同じように楽しみました(笑)。職場のみんなでDiwaliに合わせてインドの伝統衣装を着てインドのスナックを楽しみました



クリスマス in Fiji

初めてのフィジーでのクリスマス。

11月のDiwaliが終わると、街は徐々にクリスマスカラーに染まっていきました。場所によっては、ココナッツの殻や葉で作られたクリスマスツリーも登場。波乗りサンタを期待していましたが、残念ながら今年のクリスマスは大雨に見舞われ、各地で洪水被害も発生しました。

フィジーのキリスト教徒の人々にとって、クリスマスは朝から教会でお祈りを捧げる大切な日なのだそうです。



職場では、みんなでクリスマスパーティーが開かれました。

プレゼント交換は「シークレットサンタ」という方法で行われ、事前にくじで決めた相手にプレゼントを渡しました。誰からプレゼントをもらうのか分からないドキドキ感に、まるで子どもの頃のようにわくわくしました♪ちなみに、渡してよく喜ばれる贈り物は**お酒**と**香水**だそうです。





お正月 in Fiji

日本では年末年始といえば、一年で最も重要なイベントのひとつですが、フィジーではクリスマスのほうが盛大に祝われているように感じました。驚いたのは、政府機関を含め、ほとんどの職場に年末年始の休みがないこと！ 祝日は1月1日のみで、1月2日からは通常通りの平日になります。

幸運なことに、私の配属先は珍しくしっかりと年末年始の休みがあったので、のんびりフィジーを満喫できました（笑）。

日本では、大晦日は家族で集まったり、お寺にお参りに行ったりしますよね？ 私が年越しを過ごした場所では、0時になると数回花火が打ち上げられました。同僚の話では、地域ごとに人々が一か所に集まり、みんなでカウントダウンをするのが恒例だそうです。

2025

日本の宗教観とは？？？

フィジーで過ごしていると、さまざまな宗教が共存していることを実感します。それぞれの宗教には異なる価値観や考え方、生活スタイルがあり、それを知る機会も多くなりました。そして、「日本ではどうなの？ あなた自身は何を信じているの？」とよく聞かれます。

日本人の多くは仏教徒とされていますが、実際には「無宗教のようなもの」だと感じている人も多いのではないのでしょうか。私たちは、お寺で仏様に手を合わせる一方で、神社で神様にもお参りします。結婚式は教会で行うこともあり、ハロウィンやクリスマスも楽しむ。特定の宗教を強く信仰するわけではなく、「自分を信じて、自分の信じた道を歩む」というスタンスの人が多いように思います。毎週末に礼拝に行くわけでもなく、日常の中で宗教を意識する機会といえば、食事前後の「いただきます」と「ごちそうさま」くらいかもしれません。

私もずっとそう思っていました。しかし、最近あることに気づきました。ある日、同僚と話していると、「仏教って、他の宗教と違って“ブッダの教え”を説く宗教だよね？」と言われ、ハッとしたのです。

もしかすると、私たちは「どこかに祈る」という形の宗教を持たないだけで、実は仏教の価値観のもとに生きているのではないかと考えました。思い返せば、小さい頃から「自分がされて嫌なことは人にしない」「正しいと思うことをしなさい」「物を大切にしなさい」と教えられて育ちました。これらはまさに仏教の教えそのものではないのでしょうか。知らず知らずのうちに、私たちはその価値観を受け継いできたのだと感じます。

フィジーに来て気づいたことですが、道端にはポイ捨てされたゴミが散乱していることがよくあります。また、「ちょうだい！」と言えば、他人の物を気軽にもらえる文化もあります。こうした光景を目にしたとき、私は違和感を覚えました。それは、私自身が「物を大切にすること」「人の持ち物を尊重すること」を当たり前のこと（＝正義）だと信じて育ってきたからなのだと、今になって気づきました。